



# トップスニュース

## Vol.84

2016年3月25日

加盟  
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガスバドミントン部



NTT西日本広島ソフトテニスクラブ



中国電力陸上競技部



コカ・コーラウエストレッドスパークス



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから  
公式Webサイトへ  
アクセスできます。



## NTT 西日本広島ヤング 5年ぶりのアジアカップ制覇

3月12日(金)～13日(土)の2日間、広島市中央庭球場、広島市中央バレーボール場(クレイコート)、リョーコーテニスコートの3会場で第20回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会が開催された。男子は141チームがエントリーし、NTT西日本広島からは、若手を中心としたY(ヤング)、ベテラン中心のA(アダルト)の2チームがエントリーした。海外からもアジア五輪チャンピオンを含む韓国代表、世界選手権団体銀メダルの台湾代表など強豪が参加し、国内も実業団のみならず、インカレ優勝の早稲田など有力大学も多数参加し、ハイレベルな大会となった。

強豪がひしめき、韓国代表がベスト16で姿を消すという波乱もある中、NTT西日本広島はアダルトが3位入賞。ヤングは、準々決勝で世界選手権銀メダルのメンバーを揃えた台湾代表と対戦し、1-1で迎えた第3戦を新キャプテン村上雄人の冷静なプレーと、新人の林大喜(同大出)の勢いあるプレーで勝ちきり、決勝に駆け上がった。決勝戦は昨年国体優勝の和歌山県選抜と対戦。接戦が予想されたが、台湾を破り勢いと自信をつけたヤングチームは4-0・4-0の圧勝で5年ぶりのアジアカップ制覇を決めた。特に新加入の船水雄太(早大出)、丸中大明(中大出)、林の気迫溢れるプレーが光った。

来季の初戦は5月に奈良で開かれるアジア選手権日本代表選考を兼ねる全日本シングルス選手権。来シーズン「出場大会は全て制覇する」という大きな目標に向かって期待が膨らむ。



優勝したNTT西日本Y(ヤング)のメンバー



広島メイプルレッズ

## メイプル 日本リーグ4位に終わる プレーオフ進出も完敗

3月13日(日)に岐阜県の岐阜アリーナで飛騨高山ブラックブルズ岐阜対広島メイプルレッズのレギュラーシーズン最終戦が行われた。両チームともこの試合に勝てばプレーオフ進出がかかる大事な試合だった。

広島メイプルレッズは前半に3回の退場者を出す苦しい展開となった。しかし、主将のGK毛利久美が好セーブし速攻に繋げ10対5のリードで前半を終えた。後半も集中力を切らさず、21対9で勝利した。1巡目では勝利することは出来なかったがレギュラーシーズン最終戦では完勝、プレーオフの切符を手にした。



3月13日(日)飛騨高山ブラックブルズ岐阜



## サンフレ ACL 初勝利、グループリーグ 3 位に浮上

3 月 16 日(水)に広島広域公園陸上競技場で AFC アジアカチャンピオンズリーグ (ACL) の第 3 節が行われ、サンフレッチェ広島はブリーラム・ユナイテッド(タイ)と対戦した。サンフレッチェ広島はここまで 2 試合連続で負けており、勝たないとグループリーグ突破が難しくなるという大事な試合だった。

序盤から両者譲らない戦いをしたが、前半 42 分に試合が動いた。今シーズン京都から移籍した FW 宮吉拓実のスルーパスに抜け出した FW 浅野拓磨が決めて先制する。後半に入ると浅野が再びチャンスを作る。後半 10 分 MF 野津田岳人のパスを受けてターンするとそのままドリブルで相手 2 人をかわし、GK との 1 対 1 を落ち着いて決めて 2-0 とした。さらに後半 36 分 MF 柴崎晃誠が落としたボールを MF 清水航平が決めて 3-0。このまま試合が終了し 3-0 の快勝で ACL 初勝利を手にすることができた。またこの試合に勝ったことで勝点 3 を得て、グループ 3 位に浮上した。



得点を決め喜ぶ選手たち



## 熱き鯉戦士たちの開幕戦

3 月 25 日(金)、2016 年度シーズンが開幕した。相手はラミレス新監督率いる横浜 DeNA ベイスターズ。開幕投手を任されたのは昨シーズンセ・リーグ最優秀防御率のタイトルを獲得したジョンソン、スタメンには 1 番田中広輔、2 番菊池涼介、3 番丸佳浩の同年代トリオ、4 番には中日から加入したルナ、5 番に 2014 年シーズンの本塁打王エルドレッド、6 番は背番号が 25 に戻った新井貴浩、7 番には初の開幕 1 軍の下水流昂、8 番はジョンソンと相性の良い石原慶幸が起用された。

試合は 2 回表 1 死 2, 3 塁で DeNA ルーキーの柴田竜拓が中前に先制 2 点タイムリーを放った。広島は 8 回裏 1 死 1, 3 塁で菊池がレフトへの犠牲フライで 1 点を返したが、反撃及ばず 1-2 で敗れた。ジョンソンは 8 回 2 失点と好投したが、打線が DeNA 先発井納翔一を打ち崩せなかった。開幕敗戦の中で 2000 本安打へあと 29 本と迫っていた新井が 2 本のヒットを放ち、大台へあと 27 本とした。

緒方孝市監督は「全員で勝ちをもぎ取る。切り替えて頑張ってもらいたい」とコメントしており、チーム 25 年ぶりの優勝へ向けて全員で勝ちをもぎ取ってほしい。



新スローガンを掲げて選手を応援するカープファンたち

## 2/26~3/25 トップス広島 試合結果

### サンフレッチェ広島

▽2016 J1 リーグ 1st. ステージ

2/27 サンフレッチェ広島 ●0-1○ 川崎フロンターレ

3/12 サンフレッチェ広島 △2-2△ 湘南ベルマーレ

### メイプルレッズ

▽第 40 回日本ハンドボールリーグ

2/27 メイプルレッズ ●13-32○ 北國銀行

### 広島東洋カープ

▽オープン戦

3/5 広島東洋カープ △1-1△ 西武ライオンズ

3/6 広島東洋カープ ●3-4○ 西武ライオンズ

3/10 広島東洋カープ ●1-6○ ヤクルトスワローズ

《※広島で行われた試合のみを掲載しています。》

## 湧永、日本リーグ 10 度目のフェアプレー賞 G K 志水孝行は初のベストセブン賞!!

湧永製菓は 3 月 13 日(日)の日本リーグ琉球コラソン戦でシーズンを終えた。この試合に勝利することができず、前回よりも順位を一つ上げたものの 5 位、2 年連続プレーオフを逃したが、10 度目となるフェアプレー賞に輝いた。フェアプレー賞は、退場や失格などで積み重なっていくフェアプレーポイントの最も少ないチームに贈られる賞である。他のチームとプレーオフを争う中で、こういった賞を手に入れることは非常に素晴らしいことである。また、志水孝行は初のベストセブン賞を受賞した。志水は 2005 年に入団し、ワクナガの頼れる守護神として活躍している。11 年目で悲願の受賞となった。

次のシーズンこそは、ベストセブン賞を受賞した志水を筆頭に、フェアプレー精神を存分に発揮し、王座奪回を目指してほしい。

## 国境を越えて、韓国の強豪大学チームと練習試合！

コカ・コーラウエストは 2 月 20 日(土)から 28 日(日)までの 9 日間、韓国体育大学女子を招き、合同強化練習を行った。取材で訪問した 25 日(木)はグラウンドに小雪がちらつく中、大学チームとの練習試合が行われ、一進一退の攻防が繰り広げられたものの惜しくも敗れた。しかし、シーズン開幕に向けてチームの飛躍を予感させる実りある試合であった。練習試合終了後、主将の新井麻月にインタビューをして現在のチーム状態と今年の目標について尋ねてみた。

・チーム状況について 「合宿で日本代表選手がチームを抜けた状況で、一人ひとりのチャレンジとチームの一員としてプレーする自覚、そしてチーム戦術の理解を意識して練習に取り組んでいます。その中で、なかなか声が出ない上、連係ミスや基本的なパスミスが目立っており、ゲームのコントロールに関しては、考えや意図が薄く課題となりました。しかし、今は様々な経験をたくさん積める時期なのでミスを恐れず積極的に取り組み、これらの課題を試合の中で修正し、改善できるようにしていきたいです。」

・今後の取り組みは 「今年はオリンピックイヤーなので、現在はチームのメンバー全員が揃って活動する時間が十分にありません。そのため、それぞれの活動状況においてチームとしての取り組みを意識することと、限られた人数で行う全体練習・練習試合ではコミュニケーションを十分にとり、チームの共通理解を増やし徹底することを意識して取り組んでいます。昨年からの取り組みが形になりつつあり、今年は新たに 5 名の新人が加わるので、さらに変化と勢いあるものになると思います。」

・今シーズンの目標は 「公式戦の勝率、87%以上」 ※昨年度を上回る結果

季節も春になり、いよいよ新しいシーズンの幕開け！ 今年も、レッドスパークスから目が離せない！

## D○スポーツ・人権スポーツ教室を開催

中国電力陸上競技部は、2 月 25 日(木)に D○スポーツ(矢野西小)、26 日(金)にスポーツ人権教室(高見小)、29 日(月)に D○スポーツ(湯来東小)に参加した。マラソン大会シーズンということもあり、長い距離を走るためのポイントや、身体の動かし方を中心に指導を行った。また、D○スポーツでは、児童のみなさんにいろいろなことに挑戦し、自身の可能性を見出してほしいことから、パワーポイントを使って選手の生い立ちを披露し、現在に至るまでの道はそれぞれあったことを伝えた。



人権スポーツ教室(高見小)の様子



D○スポーツ(矢野西小)の様子



## 広ガス 小中学生にバドミントン指導

3月5日(土)に呉市総合体育館で広島ガスバドミントン部によるジュニアバドミントン講習が小中学生を対象に開催され、初級・中級・上級のレベル別に分かれての練習や選手たちによるデモンストレーションなどを行った。また、選手との交流試合も行われ、参加した小中学生たちは積極的にプレーをしていた。

講習会では多くの笑顔が見られ、選手も小中学生との交流を楽しんでいた。



呉市総合体育館での練習風景



## JTサンダーズV・プレミアリーグ 5位

JTサンダーズは2月27日(土)にパナソニックパンサーズとのV・プレミアリーグ・ファイナルステージ(ファイナル6)第4戦を大阪市中央体育館で行った。

立ち上がりで出遅れ先行を許したJTサンダーズは、先行を許し、その後も相手の背中を追いかけるも、逆転は最後までできなかった。振り返れば、主将・越川優は「新しくコートに入る選手の“爆発力”が一つのカギになると語っていたがこの大一番で“爆発力”を、発揮することができなかった。越川やレアンドロ・ヴィソット・ネヴェスをはじめとしたビッグサーバーの強烈なサーブでポイントを奪い、試合を自分たちの流れに持ち込むのがJTサンダーズにとって一つの勝ちパターンであったはずだ。だが、試合後に相手チームの選手が「多くても2本しかブレイクされなかった。ポイントで抑えられたのが勝因になったと思う」と語った通り、越川やヴィソット、それに八子大輔といったメンバーが“ブレイクのチャンス”の大半を、あっけなく相手に譲り渡してしまう。一進一退の攻防



2月27日パナソニック戦

においてブレイクできないということは、相手に先行されている限り、追い越せない。選手たちは最後まで戦い、そしてストレートで敗れた。同時に、昨シーズン王者として挑んだJTサンダーズの、V・プレミアリーグ連覇の夢も消えた。

ファイナル3進出、ひいてはV・プレミアリーグ連覇の可能性が絶たれてしまったパナソニックパンサーズ戦での敗戦から一夜。翌日28日(日)には堺ブレイザーズとの第5戦を同じ大阪市中央体育館で行った。

勝っても負けても次のステージには進めないことが分かっている中で迎えた試合。しかし、ただ目の前にある試合にどう勝つか——選手たちの想いはその1点に集約されていた。そしてセットカウント3-1の快勝で最終戦を締めくくった。

そして、5月8日(日)にJTサンダーズは猫田記念体育館で「2016ファン感謝Day」を開催する。

来シーズンのJTサンダーズの活躍に期待したい。

各チームの1推し選手を紹介します。

### ☆選手紹介コーナー☆

#### ワクナガレオリック 志水 孝行選手



生年月日 1983年8月27日  
身長 186cm  
血液型 O型  
出身地 長崎県

↓選手からのコメント

「来シーズンはチームとしても、個人としても結果を出し、2年連続のベストセブンを目指します。その時は心の底から皆様に胸を張ってご報告したいと思います。これからも引き続き熱い声援をお願いいたします。」



### ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

編集協力 広島経済大学 興動館  
スポーツによる地域活性化プロジェクト